

災害対策委員会ニュース 第3号

2026年8月28日発行

発行所 日本ホーリネス教団災害対策委員会

発行人 竹内 義晴

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1

TEL 042-394-7466 FAX 042-392-2877

「令和8年 熊本地震（第2報）」 「千葉豪雨」への対応状況報告

災害の激甚化・頻発化が進んでいることをあらためて認識させられています。千葉豪雨、熊本地震等、災害によって被災されたすべての方々を覚え、主の慰めと支えが豊かにありますようお祈りいたします。

熊本地震への対応について

「令和8年 熊本地震」への支援献金にご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。引き続き、お祈りとご支援をお願いいたします。

災害対策委員会では、現在、キリスト教系支援団体（いのりんジャパン、ワールドビジョンジャパン、LOVE EAST、ハンガーゼロ、九州キリスト災害支援センター（以下、九キ災）、広島災害対策室、OM ジャパン等）とその活動状況を共有しつつ、献金やボランティア派遣の可能性などについての検討を進めています。

これまでに次の2件の献金をさせていただきました。

① 九キ災（献金額：50万円）

現在は、在宅避難者への食料支援、炊き出し等を中心に実施しています。支援物資購入費、輸送費、人件費、その他活動費等を必要としており、その支援に向けた献金を行いました。

② いのりんジャパン（献金額：30万円）

被災家屋の屋根の応急対処（屋根材の貼り付け）と井戸の修復の働きが現地で期待されており、実施しています。現在は、屋根修理を依頼すると3年待ちとなり、3年持つ応急処置が必要となっています。屋根材が家一軒あたり5～7万円程度かかるとのことで、財政的支援を必要としています。

また、一部損壊の指定を受けた熊本植木教会へお見舞金を支給させていただきました。

なお、ボランティア派遣については、いくつかの団体においてニーズは認められるものの、現地の受け入れ態勢が整備されるまで、今しば

らくお待ちください。

災害支援献金のお願ひ

（郵便振替）

00190-4-545635

（口座名）

日本ホーリネス教団緊急支援対策室

献げられました献金は、キリスト教系支援団体への献金、教団から派遣するボランティアへの支援費、赤十字・地元社会福祉協議会への献金などに用いさせていただきます。

なお、献金の5%は、緊急支援基金に繰り入れさせていただきます。緊急支援基金は、個別に指定献金を募るに至らない災害への見舞金や支援費に用いさせていただきます。

千葉豪雨への対応について

2026年8月13日夕方から14日未明にかけて、千葉県内で線状降水帯が相次いで発生し、記録的な大雨となりました。

教団内の教会では大きな被害はなかったものの、信徒宅では床上浸水、床下浸水、入居施設での床上浸水、車の水没などの被害もありました。自宅の床上浸水相当以上の被災をされた方にはお見舞金を支給させていただきました。

その後の各地での豪雨災害と合わせて、引き続き、被災された方々のためにお祈りください。

能登半島地震への対応について

能登半島地震への対応についても、引き続き、ボランティア活動支援は行っています。ボランティア活動に参加される方は、事前に災害対策委員会（saigai@jhc.or.jp）にお知らせくだされば、交通費、宿泊費等の支援は行いますので、ご連絡ください。

※「災害対策委員会ニュース」は不定期に発行しています。